

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 2 チーム	担当課名	子ども課
事業番号	2-11	事務事業名	幼稚園教育振興事業(私立幼稚園協会補助)

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目(複数選択可)
1	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		1	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
		1	③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
3	見直しが 必要		① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
2	現行どおり	現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0	拡充が必要		① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 平成25年度の新システム導入もあり、本事業の見直しが必要である。</p> <p>② 新しい保育システムにふさわしい助成制度を考えるべきである。</p> <p>③ 園の経営の補助か研修、物品等への補助かが不明確になっている。後者であれば、効果測定をしっかりと欲しい。改めて、補助金をしっかり考えて、必要なら付けてよい。</p>	<p>④ 長く事業を行うと当初の目的などが分からなくなる。一度事業を再検討し、必要であれば新しい制度として考えるべき。</p> <p>⑤ 少子化が続き、幼稚園の再編など一定の方向性について市としても考えるべき。</p> <p>⑥ 今後の幼稚園と保育園の一体化に期待。定員割れしている園の自助努力を促すことも必要。</p>